

子どもの靴が小さくなったのでネット通販で子どもの靴を買いました。

サイズは合っているはずなのに、歩いているとすぐに脱げてしまい、

子どもが履きたがりません。靴選びはどのようにしたらよいですか。

(1歳6ヶ月)

足は幅や厚みに個人差が大きく、足の長さだけで靴を選ぶと足にフィットしないことがあります。子どもの場合、足にフィットしていない靴を履くと転びやすい、足の指や爪の変形・炎症などをおこす、自分で履けない・脱げない、靴を履きたがらない、運動したがらない、などのトラブルを招きます。

靴のトラブルを避けるために、お子さんの靴選びには“試し履き”をおすすめします。また、靴は、履いている人の足の形に馴染んで形が変わってきます。お兄ちゃんやお姉ちゃんのお下がり履かせるときは、形が変わっていないか確認し、履き癖のついている靴は、使用を控えましょう。

よい靴選び

足をしっかりホールドしていて、足と靴に一体感がある。

マジックテープなどで
甲の部分を調節できて
足にフィットするもの



つま先をまっすぐ伸ばしても靴の先に当たらず、指を動かす余裕がある。



つま先に1cmくらい
余裕があるもの

歩行中の衝撃を吸収し、すべりにくいソール（底）があるもの。

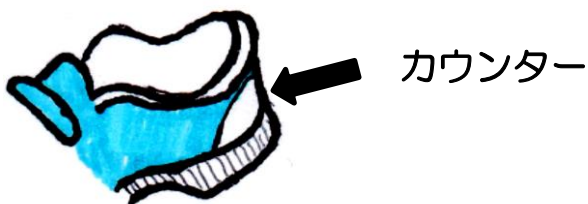
つま先が少し上がって
いるもの



歩くときに、しっかりと後ろに蹴り出せるように、靴底が指の付け根部分で曲がりやすいもの。



歩くときに、足が内側・外側に倒れないようにサポートするためのしっかりしたカウンター（かかと周りを支えるもの）があるもの。



おさがりの靴は、かかと周りを支えるカウンターが、つぶれていてはきにくいことが多いです。